

## 平成28年度 施政方針

平成28年度の予算案をはじめ、その他の諸議案の審議をお願いするにあたり、本市を取り巻く情勢を展望し、市政運営に関する私の所信を申し述べ、議員並びに市民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

世界は今、急速に拡大し続ける地球温暖化に伴う自然災害の脅威や中東情勢の不安によるテロ、諸外国の軍事力拡大など人的な威力にさらされています。

人類の存続に影響を及ぼしかねない気象変動について、パリで開催された  
COP21

COP21において世界の気温上昇の抑制のための取組みが200近い国、地域の参加のもと合意されたことは画期的な出来事であります。

本市においては、平成25年の台風18号、平成26年の8月豪雨による大規模な水害を被りましたが、今年度は大きな災害もなく平穏な一年でありました。気象変動による大規模な災害は必ずくることを念頭に、市民のみなさんに安心して福知山に暮らしていただけるよう、国府市が連携して策定した総合的な治水対策を強力に推し進めるとともに、地域の防災機能の強化に鋭意取り組み、災害に強いまちの構築に努めているところであります。

さて、我が国経済は、デフレ脱却と経済再生を最重要課題とした「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」などを柱とする経済政策の推進により雇用や所得環境に改善の兆しが見えてきたところでしたが、世界的な原油安や中国の景気減速、中東情勢の緊張や日銀のマイナス金利政策の決定などにより、年初から日経平均株価が乱高下し、経済の先行きが不透明な状況となっています。

こうした中、国は全国的に少子高齢化や人口減少が大きな構造的課題となっており、労働供給の減少など将来への不安を打開するため、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」の実現を目的とする「一億総活躍社会」の実現に努め、50年後に1億人の人口を維持することとされました。

人口減少は、地域経済の規模を縮小させ地域コミュニティの低迷など地域社会の基盤に多大な悪影響を及ぼすことから、人口減少に歯止めをかけ、地方創生を成し遂げるため、人口、経済、地域社会の課題に対して一体的に取り組むことを目指して、「福知山市人口ビジョン」及び「福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略」を昨年10月に策定し、積極的に施策を展開することとしております。

昨年実施された国勢調査に基づく人口と世帯数の速報値では、京都府内の人口減少が鮮明となる中、特に府北部からの流出が目立つ結果となっております。本市人口は、近隣市町が五年前と比べて5パーセントを超える減少率となる中、本市の減少率は0.87パーセントと僅かとなっております。これは、先人のご尽力により北近畿の中核都市を標榜したまちづくりにより「医・職・住・遊・学」の基盤がバランスよく整備され、鉄道や道路網などの結節点などと連動し、多様で高度な機能が集積した「内部完結型の魅力あるまち」が形成されていることに起因しているものと考えております。

私は、平成21年以来、これまで7回の予算編成にあたり、福知山市の礎を築き、何事に対してもあくなき挑戦をし、強い絆で未来を切り開くために、「市民をど真ん中に」強い情熱を持って、多様な施策を推進してまいりました。

福知山市は今年の1月1日に合併して満10年の節目を迎え、活気あふれる次世代を創造する新しい一步を踏み出したところであります。

市民の皆さんとの協働により策定いたしました「未来創造 福知山」には、福知山市民憲章「幸せを生きる」の基本理念を叶えるための多様な施策が詰まっています。「多様性あふれる高次機能都市」の実現を目指し、計画された「市民とともに創り上げる災害に強い安心・安全の地域づくり」、「新たな公立大学の設置による学びの拠点構想の実現」、「安心

して子どもが育てられる環境整備」や「移住・定住の促進」などの多様な施策展開は本市の発展に大きく寄与するものと考えております。

昨年イングランドで開催されたラグビーワールドカップにおいて、24年間白星から遠ざかっていた日本チームが、優勝候補の南アフリカから歴史的な勝利をあげました。的確なマネジメントのもとで、大きな夢を持ったグローバルなチームの強い結束力が勝因のひとつと言われています。

魅力溢れるまちの形成へのプロセスも同様であり、これまでに培われた「人と人の強い絆」、「礎」を土台として、市民と行政がスクラムを組み、多様な英知を集結し、今後の10年を「一人ひとりが輝いて生活できる舞台」となるようしっかりと地方創生の取組みを議論し、有効な施策を展開していかねばなりません。

ここで重要になるのは、健全で安定した財政力です。

本市一般会計の財政状況を申し上げますと、市税収入については、景気の緩やかな回復基調が要因となり、法人市民税、個人市民税などの上昇により、市税収入は対前年比で2.4パーセント増を見込んでいます。一方歳出は、社会保障関係経費の自然増をはじめ、総合的な治水対策関連経費やe-ふくちやま事業の民営化経費をはじめ、地方創生の要となる大学運営経費などの事業展開により増加となる経費を他事業の経費削減により賄いましたが、なお不足します財源を財政調整基金、減債基金の取り崩しで対応することといたしております。

こうした厳しい状況下において、「未来創造 福知山」の実効性を行政運営面から担保するために、「次世代へつなぐ新たな改革」をテーマに掲げ、「第6次行政改革大綱」を昨年12月に策定いたしました。基本方針として、「市民協働による改革」、「行政経営の改革」、「財政経営の改革」、「人材育成、組織改革」の4つの改革を掲げており、同実施計画を早期かつ着実に実施してまいります。

今年は、新しい福知山市の創生を賭ける節目の年であります。当初予算は骨格予算ではありますが、福知山市版総合戦略「まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略」に位置付けた「福知山公立大学関連事業」など好循環を生み出す多様な事業をはじめ、総合的な治水対策事業やe-ふくちやま事業の民営化経費などを計上し、切れ目なく着実に進めていくものとし、合わせて国の緊急対策補正予算を計上し、13か月予算として迅速に対応していくこととしております。

その結果として、平成28年度一般会計当初予算は、412億5000万円、特別会計の予算は総額233億2687万2000円、公営企業会計の予算は、総額234億7870万円、全会計を合わせますと

880億5557万2000円となり、予算規模といたしましては、一般会計予算総額では、骨格予算でもありますので地方財政計画の対前年度伸び率0.6パーセント増を下回り、前年度同額といたしました。

それでは、歳出予算の主な内容を「未来創造 福知山」基本計画の政策体系に沿って具体的に申し上げます。

はじめに、「市民が主体のまちづくり」であります。

福知山市の総合的な市政運営の計画「未来創造 福知山」が今年4月からスタートします。本計画が目指す将来像の実現には、市民・地域・ボランティア・NPO・事業者と行政が総力を結集し、市民協働で取り組むことが重要であるとしており、本計画の内容を広く市民に周知するとともに、市民の市政への参画機会を増やすことによる協働のまちづくり意識の醸成を目的として、福知山公立大学との協働による「福知山百人ミーティング」などを開催しながら市民とともに推進します。

住民の主体的な地域活動を行う「地域協議会」につきましては、三和地域は昨年4月、夜久野地域は昨年7月に設立され、大江地域は、現在設立に向けた準備が進んでおり、地

域課題の解決に向けた取組みを引き続き支援します。

また、地域住民や若者等が主体的に実施する地域活性化の取組みを支援する「元気出す地域活力支援事業」を引き続き実施してまいります。

人、まちの絆で未来を切り開くには、何より人権の尊重が大切です。

「第3次福知山市人権施策推進計画 いのち輝き夢プラン」に基づき、多様な人権施策を通じて、人権という普遍的文化の創造とともに「幸せを生きる」共生社会の実現に向けて取組みを進めます。昨年8月にオープンした男女共同参画センターを中心に、男女共同参画計画やユニバーサルデザイン推進指針に沿った各種施策を推進するとともに、様々な立場の人が年齢や性別、国籍、出身などにかかわらず、違いを認め合い、尊重する社会の実現に向けて取り組んでまいります。

次に「人と文化・スポーツを育むまちづくり」であります。

「自分のために人のために社会のために『共に幸せを生きる』教育のまち福知山」をキャッチフレーズに学校教育と社会教育が連携して、教育で学んだことを自分の幸せや夢の実現のために活かすとともに、他者貢献や社会貢献もできる高い志を持った人材の育成に努めてまいります。

また、児童・生徒・園児にとってより良い教育環境の整備を進めていく上で、「福知山市立学校教育改革推進プログラム後期計画」に沿って学校の統廃合に取り組み、小学校の適正規模、適正配置を図ってまいります。

教育環境の充実にあたりましては、惇明小学校、日新中学校の2校の耐震改修工事を実施し、学校施設の耐震化を完了いたしますとともに、空調設備整備を引き続き実施してまいります。

幼稚園につきましては、昨年度から3園に再編し3歳児保育を開始し、より一層の小学校教育につながる幼児期の学びを大切にした教育を行ってまいります。

学校教育におきましては、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など「知・徳・体」の調和がとれた幼児・児童・生徒を育成するため、引き続き保幼小中一貫・連携教育『シームレス学園構想』の取組みを核に一層の充実に努めるとともに、安全教育を推進し、地域とより連携した安心安全な環境づくりを進めます。

また、大きな教育課題となっております不登校対策、いじめ問題、子どもの貧困問題などについては、個別の課題に丁寧に対応するとともに、児童生徒が将来に希望をもって成長していけるよう関係機関と連携した支援に努めてまいります。

学校給食におきましては、夜久野学校給食センターを福知山センターに統合し、大江センターとともに安全で安心な美味しく楽しい給食づくりに努めます。

大学教育の充実ににつきましては、昨年3月に策定した「教育のまち福知山学びの拠点基本構想」に基づき今春開学する「福知山公立大学」が地域・企業・行政・教育機関などと連携し、「地域協働型教育研究」の実践を通じて地域を担う人材の育成、大学の知的資源を活かした地域産業振興、生涯学習の充実など北近畿地域全体の発展に寄与する大学となるよう努めるとともに、北近畿地域の学生は勿論、全国から多くの学生が集う「学びの拠点」の実現に向けて取り組んでまいります。

また、福知山公立大学生を対象とした入学支援金や奨学金制度を創設し、市民の進学支援や低所得世帯等に対する支援を通じて、未来を担う子どもたちの教育環境の充実に努め、「教育のまち福知山」として地域の発展に繋げるものであります。

福知山公立大学は、地域協働型実践教育研究の機能を有し、質の高い専門教育を提供することにより、有為な人材育成、社会に貢献することとしています。

特に社会貢献の分野におきまして、北近畿地域の自治体や企業、各種団体等との連携・協働の活動拠点となる「北近畿地域連携センター」は、福知山市の目指す地方創生、地域活性化に向けたまちづくりの中核として、機能の充実や産官学金の連携に向けた取組みの支

援を行うものであります。

文化振興につきましては、各文化施設での展示、体験学習等への市民参加を進めるとともに、歴史・文化・伝統技術等の保全や活用を図ります。本年5月には福知山城天守閣再建30周年を記念して福知山城初代城主「明智光秀」を主題とした「丹波福知山明智光秀サミット」を開催し本市の魅力を広く発信し、文化の創造を図ります。

次に「だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり」であります。

公共交通につきましては、沿線地域の活性化と交流の拡大を促進するため「京都丹後鉄道」へ支援を行うとともに、JR福知山線の複線化等鉄道の機能充実に向けて引き続き要請してまいります。

また、バス交通網につきましては、「地域公共交通網形成計画」に基づき再編実施計画の策定に着手し、地域の特性を踏まえた公共交通の再構築に取り組みます。

道路網整備につきましては、国道429号榎峠のトンネル化や、国道175号の由良川改修に併せた改良、国道426号の急カーブの解消、府道では舞鶴綾部福知山線の猪崎・川北地内、市島和知線の台頭地内、但東夜久野線の平野地内などの整備促進をお願いしてまいります。

このほか、都市計画道路・多保市正明寺線（高畑工区）の車道の拡幅と両側歩道を設けた橋梁への架け替えを街路事業として進めるとともに、市道につきましては、効果的な道路網整備及び道路パトロールの徹底、橋りょうの長期的な補修計画の策定などにより、道路利用者の安心安全な通行の確保及び長期的なコストの縮減に努めてまいります。

上下水道事業につきましては、市民生活や産業活動を支える重要なライフラインとして、より災害に強い施設整備を目指してまいります。

次に「豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり」であります。

国の「由良川の緊急的な治水対策」を受けて「由良川水系河川整備計画」の一日も早い完了に向け、引き続き関係機関への要望を進めるとともに堤防用地の確保など由良川中流部・下流部の治水事業進捗を図るため、地権者や対象者との調整を迅速かつ円滑に進め、築堤の早期完成や宅地嵩上げ事業の早期完了に努めてまいります。

内水対策としましては、「国府市の総合的な治水対策」を着実に具現化することとしており、氾濫による家屋浸水等災害防止効果を高めるため、準用河川西川調整池等の整備を進めます。

「市民とともに作る災害に強いまちづくり」をソフト面から推進するため、情報収集や情報伝達機能の強化、広域避難所の見直しなど災害対応体制強化の取組みをさらに進め、市民の安心安全の確保に努めます。

さらに、国の由良川の浸水想定区域の見直しに合わせて、洪水ハザードマップを作成し全戸配布するとともに、自主防災組織が作成する地域版防災マップの取組みを支援いたします。また、市民のみなさんが的確で迅速な避難行動がとれるよう防災情報ライブカメラを内水氾濫危険個所に増設いたしますとともに、雨水貯留施設の設置補助を市内全域に拡大して実施してまいります。

消防団は、地域防災の中核として欠くことができない重要な役割を担っています。消防団員の確保や施設整備を図り、地域消防力・防災力の強化に努めるとともに、1世帯に1人、3万5000人の市民救命士の育成を目標に「救命の絆」世界一のまちを目指してまいります。

近年、多発しております消費者トラブルや特殊詐欺被害については、福知山市消費生活センターを中心に消費者被害を未然に防ぐための啓発活動等の実施により、関係機関とのネットワーク体制の強化を図りながら、消費者行政の推進に一層取り組んでまいります。

環境対策につきましては、ごみの発生抑制、再使用、再資源化を推進するとともに、省エネルギー対策の啓発等に取り組み、環境に配慮した生活スタイルの構築を目指します。

次に「子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり」であります。

市民の健康づくりは、「福知山市健康増進計画」の目標達成に向けて、疾病の早期発見、早期治療に留まらず、生活習慣を改善して健康を増進していけるよう市民協働で健康づくり事業を推進いたします。

市民病院につきましては、当地域のみならず広域化する医療ニーズに応えるため、引き続き、医師、看護師等の医療スタッフの確保と医療機能の充実、地域医療の連携を進めます。大江分院におきましては、市民病院と連携した総合診療専門医の育成と市の地域包括ケアシステムの構築を踏まえた訪問診療や訪問看護などの在宅医療を推進し、地域に根ざした病院づくりを進めます。

地域福祉の推進につきましては、第2次福知山市地域福祉計画に基づき、人権が尊重され地域の温もりや支え合い、助け合う関係によって絆を育み、「自分らしく輝きながら」暮らしていける地域社会の実現に向けた施策に取り組んでまいります。

子育て支援におきましては、「福知山市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、「子どもがまんなか 未来へつなぐたからもの」を基本理念とし、子どもたちが心豊かに育ち、親が安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。その一環として、市民協働の子育て支援をさらに広めるため、新たな地域子育て支援拠点施設での利用者支援事業の開始に向けて取り組んでまいります。

くりのみ園につきましては、上半期に移転改築工事を完了させ、発達に課題のある児童の早期発見、早期支援の更なる充実に向けてサービス内容の拡充を図るとともに、ケアプランの提供を行ってまいります。

放課後児童クラブは、全クラブで小学6年生までの受け入れを行う予定であり、施設整備と指導員の資質向上を進め、児童が安心して過ごせるよう運営の充実を図ります。

これらの様々な事業の推進によりまして、安心して妊娠期から出産、子育てができるよう継続した支援を行い、全国トップクラスの出生率の維持向上に努めてまいります。

障害者福祉につきましては、福知山市障害者計画及び第4期福知山市障害福祉計画に基づき、住み慣れた地域社会の中で、すべての人が互いに尊重し支え合い、いきいきと活動しながら共に生活していく社会の構築に向けて取り組んでまいります。

高齢者福祉につきましては、地域包括ケアシステムの構築に向けて、「第7次高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画」に基づき、地域包括支援センター機能の充実に努めるとともに、深刻な介護人材不足への対策などを実施し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会を目指します。

次に「地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり」であります。

農業振興につきましては、東京でのアンテナショップの取組みを強化し、府内外において福知山産農産物のPRに努めますとともに、深刻化する有害鳥獣対策につきましても、シカ、イノシシ等の計画捕獲を一層推進するとともに、「中丹地域有害鳥獣処理施設」の利用促進により捕獲個体の適正な処分を図ってまいります。

林業振興につきましては、林業施業の基盤となる作業道の開設を推進するとともに、間伐施業や間伐材の出材、丹州材の利用促進を図ってまいります。

依然厳しい経営状況となっている中小企業への振興対策につきましては、工業生産機械の導入支援や受発注の機会拡大に向けた企業交流会の開催や販路開拓に対して支援しますほか、中小企業サポートセンターにおいて、産官学連携組織「パワーオンネット」による新商品等開発を促進してまいります。

中心市街地活性化対策につきましては、中心市街地エリアの空き家、空き店舗等の情報を集約し、ストックバンク登録者及び利用希望者双方のマッチングを行うことで不動産の流動化を促し、新規創業、まちなか居住に繋げてまいります。

さらに、長田野工業団地アネックス京都三和への企業誘致を一層推進するとともに、長

田野工業団地立地企業等の既存企業の設備投資を支援し、雇用機会の拡大を図ってまいります。

観光振興につきましては、観光の形態や顧客のニーズが多様化する中、観光客のニーズを把握しながら、福知山城やスイーツ、大江山など本市の観光資源を活用した積極的な広域PRとイベントの実施により滞在型の観光を促進します。

また、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致などに取り組み、観光と連動した「スポーツ観光」や幅広い年齢層に対応した気軽に取り組めるノルディックウォークなどのスポーツの普及、中丹地域で取り組む「シー・トゥー・サミット」により中丹地域内の周遊観光を推進いたします。

雇用対策につきましては、試行雇用おうえん助成事業の見直しを図り、より積極的に雇用機会が創出されるよう取り組んでまいります。

福知山版総合戦略で最重要施策と位置付けております「移住・定住の促進」につきましては、移住希望者への住居・雇用・地域情報などに関する総合的な相談、支援の窓口を一本化する必要があるため新たな部署を設置いたします。移住に要する経費の負担軽減や就業機会の創出などの施策を積極的に展開し、定住人口及び交流人口の増加を図ってまいります。

最後に「行財政効率の高いまちづくり」であります。

地方創生などの喫緊の課題に対応するとともに、基礎的自治体として、安定的な行政サービスを提供し、子育てや高齢化、雇用や防災など、市民の求める多様な行政需要に対してその役割を果たすためにも、弾力的な財政構造の回復に努め、財政の健全化を図らなければなりません。

平成28年度は、合併後10年を迎え普通交付税の特例期間満了に伴う縮減が始まる年であり、総合的な治水対策の実施や公共施設の更新問題への対応、公立大学の開学など、将来のための様々な財政需要が控えており、より堅実、着実な行財政運営を進めていく必要があります。限られた経営資源や地域資源を有効に活用し、組織や制度、仕組みなどを最もふさわしいものに変革していく新たな行政改革が必要なため、行財政経営マネジメントシステムを利用して事業の見直しを図ります。

子や孫、その子どもに大きな負担を背負わさず、多様性あふれる福知山市の継承を目指すため、市民協働を大きな柱として目標設定と進捗管理を行いながら第6次行政改革を着実に進めるものです。

また、市民のみなさまの御理解をいただきながら、公共施設マネジメント実施計画に基づき公共施設の最適な再配置に向けての取組みを進めますとともに、人件費を含む歳出の節減、用途廃止財産の処分など財源確保に努めます。

広域連携の推進につきましては、昨年4月に府北部の五市二町で「京都府北部地域連携都市圏」を形成することを宣言し、現在ビジョンづくりを進めているところです。国の補正予算を活用して五市二町に京都府を含めた枠組みなどで、観光、雇用、移住定住など、この地域に共通する課題を克服することとしています。また、兵庫県の自治体との連携強化にも取り組むこととしています。

高度情報化の推進につきましては、マイナンバー制度開始にあたって、国・地方公共団体との情報連携に向けて必要な環境整備を行うとともに、情報セキュリティ対策について万全を期すことといたします。

e一ふくちやま事業は、将来に亘って安定したサービスの提供に加えて、更なる利便性の向上や高度情報化社会に適応するために、民営化に向けた取組みを進めています。民営化に向けて事業者による施設整備を進めるとともに、利用者に対する説明会等を開催し、民営化の取組みへの理解を深めていただくよう努めてまいります。

以上のように「未来創造 福知山」基本計画の各施策を鋭意進め、目指す未来の福知山

市の姿として「人間性が豊かで誰もが生きがいを感じるまち」、「豊かな環境や文化を活かしすべての地域が輝くまち」、「多様性にあふれ新たな価値を創造するまち」、「安心・安全に暮らせるまち」を標榜してまいります。

私の政治信念の原点は、「市民の、市民による、市民のための政治」であります。市長として「市民をど真ん中に」市民協働を変わらぬ基本姿勢として、多くの皆様の御意見を賜りながら、市民とともに汗を流し、力を結集して「住んでよかった、これからも住み続けたい」と実感できる「福知山」を、また移り住んでいただくまち「福知山」を創造してまいる所存でございます。

議員の皆様、並びに市民の皆様方のこれまでに寄せられました御理解と御協力に対しまして、深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、今後とも市民の皆様方のより一層の御協力と、議員の皆様方の絶大なる御賛同を賜りますようお願い申し上げます、施政方針とさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。